

台風 26 号に伴う降雨による防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、10月16日11時00分、銅山川流域の肘折雨量観測所及び角川流域の明戸雨量観測所において、降り始めからの連続雨量が80mmを超えたため、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

10月16日(水)11時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(10月16日11時00分現在)

[銅山川流域]

肘折雨量観測所 連続雨量84mm(降雨継続中)

[角川流域]

明戸雨量観測所 連続雨量83mm(降雨継続中)

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(砂防) 齋藤 信哉(内線205)

調査課長 荒澤 慎一(内線351)